## 第5学年 単元名「I want to go to Italy.」(全8時間計画) 指導計画 外国語活動

	•	・国名や食べ物や地名などの日本語と違う発音や、それぞれの国の特徴など、日本とは違う文化に気づいている。				
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 〈方法・観点〉	学習の流れ	表現 (児童の発話例)
つかむ	1	<ul> <li>◎総合学習「『世界へつながるストリート2020 Tokyo』 (ポスターを作って世界の国々を学校のみんなに紹介する活動)の一環として、興味を持っている国について知らせよう」という単元の課題をつかませる。</li> <li>○キーワードゲームやミッシングゲームで国名を聞いたり言ったりする活動を通して、国名の言い方に触れさせる。 国名の英語の言い方を知ろう。</li> </ul>	ができた。	(2) 国名を聞いて聞き取っている。 (2) 国名を正しく発音している。	・オリンピックの話題のスモールトークで、世界の国々の話をし、「『世界へつながるストリート2020 Tokyo』の一環として、興味を持っている国について知らせよう」という単元の課題をつかむ。 ・本時のめあてを知る。 ・ゲームをしながら国名の英語の言い方を知る。	country names (America, Italy, France, Germany, India, Russia, Brazil, Canada, Spain, the UK, Korea, China, Australia, New Zealand, Egypt)
	2	どこの国に行きたいか尋たり答えたりしよう。	答えたりすることができた。 ☆どこかを聞きたいときには where を使うことがわかった。	(2)行きたい国を尋ねたり答えたり している。 〈観察・振り返りカード〉	<ul><li>・本時の基本表現を慣れ親しむ。</li><li>・カードゲームをしながら I want to go to の表現に慣れる。</li></ul>	A: Where do you want to go? B: I want to go to A: Nice! / I see.
追求	3	<ul><li>○総合的な学習の時間や社会で調べたことをもとに、したいことを考えさせる活動を通して、したいことを言う表現に慣れ親しませる。</li><li>行きたい国でしたいことを言ってみよう。</li></ul>	☆行きたい国でしたいことを言うことができた。 ☆外国でやってみたいことがたくさん出てきた。	以上言っている。	・基本表現に慣れ親しむ。	A: Where do you want to go? B: I want to go to A: Why? B: I want to see I want to eat I want to
す	4	りする表現に慣れ親しませる。 クラスのみんなが行きたい国を調べよう。	り答えたりすることができた。 ☆○○さんが□□で△△したいこと が分かった。	したいことを言っている。 〈観察・振り返りカード〉	・スモールトークや ALT と JTE との会話を通して、本時のめあてを知る。 ・基本表現を使って、多くの友達と国当てクイズをする。	A: I want to see I want to eat I want to B: You want to go to!
3	5	○友達と行きたい国でしたいことやできることを言う会話 活動を通して、その国の良さを伝え合わせる。 行きたい国や興味のある国でできることを言って、友達と旅行に行く約束をしよう。	☆ You can を使って友達を旅行に誘えた。 ☆□□の国では△△ができることがわかった。	でできることを知り、その国の文	<ul> <li>・他学年の先生がおすすめの国を紹介するビデオを見て、本時のめあてをつかむ。</li> <li>・You can の基本表現に慣れ親しむ。</li> <li>・多くの友達を旅行に誘う活動をする。</li> <li>・より自然な会話をするために、繰り返しや相づち、質問などを入れてやり取りをする。</li> </ul>	A: Me too. / Isee. I want to go to (Do you like?) B: (Yes. / No.) A: Let's go to You can eat (Do you like?) B: (Yes. / No.) A: You can play Let's go to!
	6 本時	○友達を旅行に誘う活動を通して、国のよさや特徴を表す 言葉を加えながら、相手にわかりやすく伝えようとする 態度を高める。 相手により伝わりやすくなるように、情報 を加えて、友達を旅行に誘おう。			<ul><li>・他学年の先生がおすすめの国を紹介するビデオを見て、本時のめあてをつかむ。</li><li>・よさや特徴を表す言葉に慣れ親しむ。</li><li>・よさや特徴を表す言葉を使って情報を加え、多くの友達を旅行に誘う活動をする。</li><li>・より自然で、相手意識を持った会話にするために、繰り返しや</li></ul>	A: Me too. / I see. I want to go to (Do you like?) B: Yes. / No. A: You can eat It's <u>delicious</u> . Do you like? B: Yes. / No.
まと	7	○聞き手にわかりやすく伝えるためにはどのように言って どのような写真を使ったらよいか考えて準備する活動を 通して、単元で習った表現を活用できるようにさせる。 相手にわかりやすく伝えられるように、話す 内容をまとめよう。		るように、考えを整理して言う準 備をしている。	<ul> <li>・もう一度前時に見たビデオを見たり、デジタル教科書のビデオを視聴したりして、本時のめあてを知る。</li> <li>・画像を選んだりワークシートに記入したりしながら、本単元で学習した表現を使ってどのようにしたら相手にわかりやすく伝えられるのか考える。考えを整理して伝える準備をする。</li> </ul>	上記の表現を使って発表内容を考える。
める	8	すく注目している国について伝え、聞き手はそれについて質問したり一言コメントを言ったりする活動を通して、それぞれの思いを伝え合い、理解し合わせる。		考えを整理して言ったり、写真を 見せたりして、注目している国の よさを伝えようとしている。 ・質問をしたりコメントを言ったり		例) A: Hello. America is nice. Do you like Pizza? You can eat pizza. It's delicoius. It's big. You can eat hamburger. I like Shohei Otani. Do you like baseball? You can watch baseball game. It's exciting. Let's go to America. B: I want to go to America. C: I want to eat big pizza. D: Do yo like major league?